

豊環減第 104号
平成29年(2017年)8月10日

一般社団法人仙台建設業協会 御中

副会長 深松 努 様

豊中市長 浅利 敬一郎
(公印省略)

「第1回三者合同防災研修会(仮称)」開催に伴うご講演について(依頼)

拝啓 時下ますますご清祥の事とお慶び申し上げます。また復興に尽力されている皆様には安全に留意されご活躍されることをお祈りいたします。

さて、本市では、兵庫県伊丹市と共同運営による処理施設、豊中市伊丹市クリーンランド(一部事務組合)からなる廃棄物行政を展開しております。そのような中、環境省が示しました自治体における「非常災害時に対応できる強靱な廃棄物処理体制の整備」に向け、三者で強化を図っている途上であります。このことから、緊急時における更なる連携をめざし、三者合同による研修会の実施を考えております。

つきましては、災害廃棄物処理や行政との連携などを題材にした、ご講演をいただきたくお願い申し上げます。

ご多忙のところ、誠に恐れ入りますが、ご承諾いただきたく、ご配意のほどよろしくお願い申し上げます。

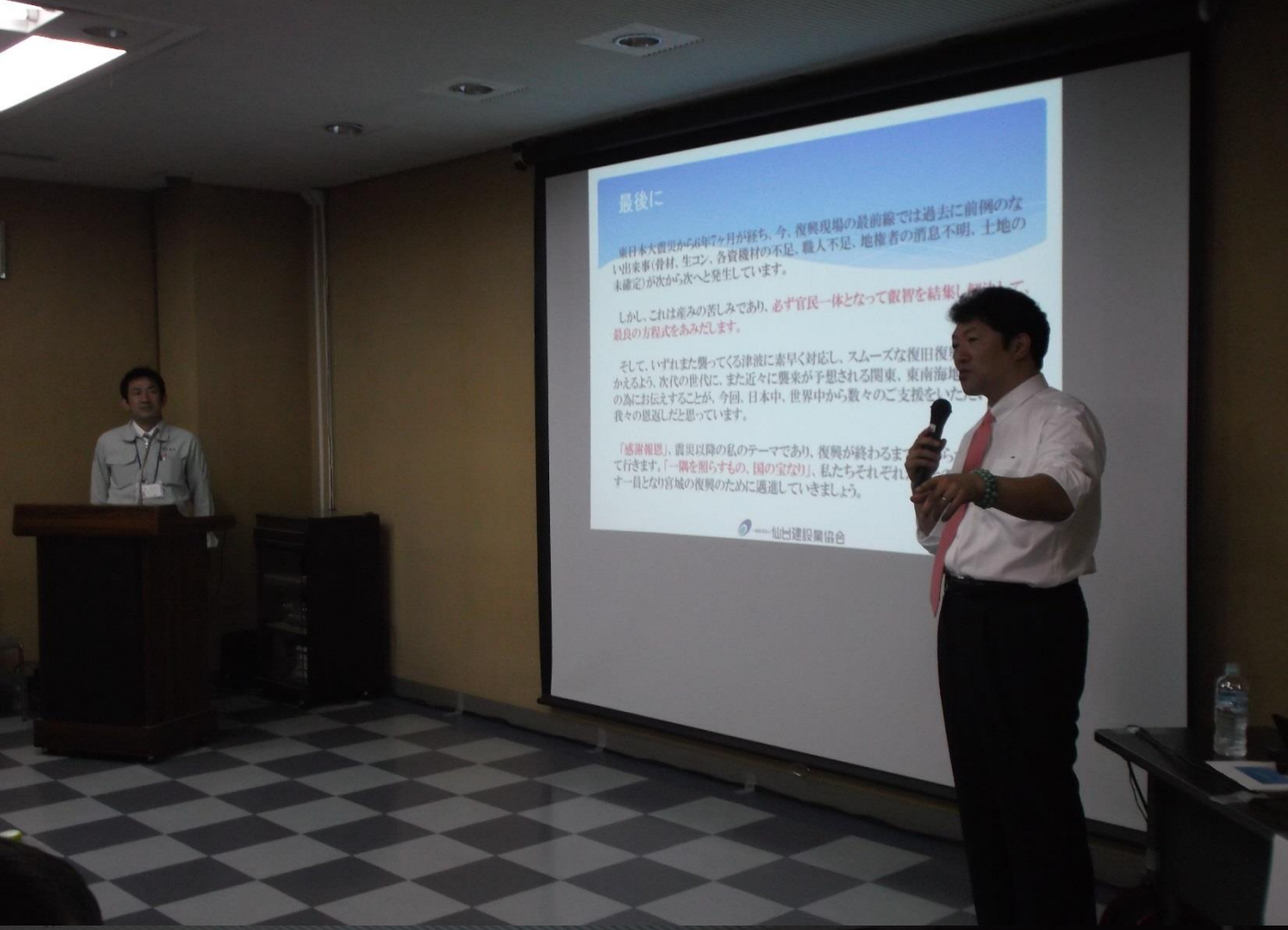
記

1. 開催日時 平成29年(2017年)10月18日(水)15時30分から17時00分
2. 開催場所 豊中市環境部環境事業所北館 2F 大会議室
(大阪府豊中市走井2丁目5番5号)
3. テーマ 「東日本大震災 現場からの証言 復興に向けての課題と提言」
4. 対象 豊中市・伊丹市・豊中市伊丹市クリーンランド各職員及び事業者等
約100名を予定

《問合わせ・連絡先》

環境部 減量計画課 担当：渡邊・豊田
〒561-0891 豊中市走井2-5-5
TEL：06-6858-2279 FAX：06-6843-3501
E-mail：genryou@city.toyonaka.osaka.jp





最後に

東日本大震災から6年7ヶ月が経ち、今、復興現場の最前線では過去に前例のない出来事(骨材、生コン、各資機材の不足、職人不足、地権者の消息不明、土地の未確定)が次から次へと発生しています。

しかし、これは産みの苦しみであり、必ず官民一体となって叡智を結集し、最良の方程式をみいだします。

そして、いずれまた襲ってくる津波に素早く対応し、スムーズな復旧復興が実現できるよう、次代の世代に、また近々に襲来が予想される関東、東南海地域の為にお伝えすることが、今回、日本中、世界中から数々のご支援をいただき、我々の恩返しだと思っています。

「感謝報恩」、震災以降の私のテーマであり、復興が終わるまで続けます。「一隅を照らすもの、国の宝なり」、私たちそれぞれが、一員となり宮城の復興のために邁進していきましょう。

最後に

東日本大震災から6年7ヶ月が経ち、今、復興現場の最前線では過去に前例のない出来事(骨材、生コン、各資機材の不足、職人不足、地権者の消息不明、土地の未確定)が次から次へと発生しています。

しかし、これは産みの苦しみであり、必ず官民一体となって叡智を結集し、最良の方程式をみいだします。

そして、いずれまた襲ってくる津波に素早く対応し、スムーズな復旧復興が実現できるよう、次代の世代に、また近々に襲来が予想される関東、東南海地域の為にお伝えすることが、今回、日本中、世界中から数々のご支援をいただき、我々の恩返しだと思っています。

「感謝報恩」、震災以降の私のテーマであり、復興が終わるまで続けます。「一隅を照らすもの、国の宝なり」、私たちそれぞれが、一員となり宮城の復興のために邁進していきましょう。